

Uターン就農者(新規参入者)調査



1. 氏名(ふりがな)

岡村 大地 (おかむら だいち)さん

2. 就農場所(市町名) 対馬市美津島町加志

3. 家族構成(労働力人数) 本人 (労働力は1人:両親は別途野菜経営)

4. 就農年月 平成24年4月(平成23年から研修しいたけマイスター活動支援事業)

5. Uターンのきっかけ

長男で家を継ぐことは頭にありました。

対馬では他産業の仕事もないだろうし、家の事もないがしろにできないと思い就農。

しいたけの研修があることを知り応募しました。

6. 作目の選定

元々野菜農家であるが、野菜だけでは収入が安定しません

家庭菜園の延長的な農家が増加して直売所向けに出荷しています

しいたけは技術も必要で、販売が安定していることがポイントです

7. 経営作物(主なもの、面積)

しいたけ 毎年20万個の植菌で400kgが目標。4年目で1600kgを目標としています

8. 原木 山ごと購入しました(木のみ) 10万円/9000m²。ホダ木で 13000本。

9. 就農時の苦労

力仕事です。チェーンソーは8kgあります。(木を切って、小さく切り、山から下ろす。)

ホダ場の選定には1年かかりました。水の確保、日照量の確認、気温、取り付け道路など確認し、土地所有者の許可を取りました。

J Aの研修事業の中で選定はお世話になりました。借用したホダ場は地元の人たち全員の了解が必要だったので感謝しています。

研修は技術習得のために必要です。新しい品目については指導を受けることが必要です。

補助事業実施に当たっては、市役所、振興局にお世話になりました。林業指導員には被覆のやり方について指導を受けました。

10. 現状(生産量、主な作業体系で留意するもの)

トリコデルマ菌(ホダ木がスカスカになる)に気を付けています。対策として風通しを良くすること(特に梅雨明け以降:温度湿度の管理)

しいたけの発生操作は移動すること、天地返しすること、3年目以降は紐カッター(草刈機)でたたくことが必要になります。

11. 農業(林業)を行う上での楽しさ、厳しさ

試験的に販売していますのでこれからが楽しみです。

福島原発などの風評被害で価格が下がることがあるので厳しいことも考えておかななくてはなりません。

山での作業はさびしいので、山にステレオを準備しています。

12. 将来の構想、新しい取組など

しいたけだけで400万円の所得をめざします。(労働力3人)野菜と併せて600万円くらいを目指したい。

対馬に少ない切花やいちごも作ってみたい。

生しいたけが安いので、ハウス利用で時期を変え単価を上げたい。

乾しいたけは原木の品質の良いものを山で栽培します。

経営を数値で管理し、5年後を目標に経営戦略を立てていきたい。

13.これから就農をめざす人たちに一言

地域の全体作業に参加すること。地域の人とは密接なつきあいを心がけること。(将来、自分たちが地域を担うことになるから)

体力は絶対必要です。

いきなり農業に取り組むのは難しいです。(最初の1年は特につらいですよ)

